

法人（事業所） 理念	多岐にわたる障害の概念を「発達障害（遅滞）」として総合的にとらえ、いわゆる日常生活の自立へ向けた基本動作を身に付けていただく支援を提供する。					
支援方針	職員とともに行う成功体験を積み重ねることにより自己の存在感を感じ取ってもらう。またそれぞれの障害特性に合わせた環境を提供し精神の安寧を図るなどを行い「自立への足掛かり」を作る手助けを行うことを目標とした「体験型デイサービス」を展開します。＊重度障害利用者を想定しているため、集団でなく「個々人」の障害特性に合わせて行います。下記の5領域に加え、従来行ってきた自立に向けた支援（排泄、食事介助、更衣介助、歩行の成長など）も継続します。					
営業時間	10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし *注：帰宅開始は16時45分です。 (祝日・土曜・夏休み等は15時30分)
	注：営業時間とは運営上施設が対応できる時間を指します。				★実際の開所（受け入れ）時間	①放課後から16時45分 ②休日等は10時から15時30分です。
	支 援 内 容					
健康・生活	主に障害程度が強い利用者を想定しています。職員と家族（ICT活用）し常に連携を密にし、体温等の数字にこだわらず「目視」にて健康観察を行うことで「意思を出せない」利用者に対応します。排泄・食事・更衣など基本的な自立を目指す支援を行います。					
運動・感覚	主に障害程度が強い利用者を想定（ダウン症の合併症児等・知的障害（自閉症）等）しています。特徴的な障害特性に対して野外活動（歩行が主）、リトミック（ダイナミックな動き）の提供を通して自ら行動することによる無理のない運動機能向上（筋力や可動域、体幹および危険回避の察知）を目指します。また、音楽機材、光遊び機材等の刺激により五感を刺激する感覚遊びの提供を行います。それぞれ利用者の障害に合わせて自動具を用意して成長の支援を行います。					
認知・行動	上記に加え、独自の作業療法的な課題への取り組みの提供（静かな個別環境の提供）および独自の支援機材の作成にて個々人の障害に合わせた感覚統合機材を提供し成長を促します。加えてICT機材の活用にて手と腿の統合感覚を促します。＊ただし、経験値および最新の論文とうを参考（OT職員配置はありません）					
言語コミュニケーション	さらに、上記の三領域を組み合わせることで、職員とのかわりあいにて言語（発語の取得）、コミュニケーション能力を育てる支援を行います。＊障害程度が強い方を想定しているため、職員と保護者および学校等の情報を共有して取り組みます。また、ICT機材も活用し、「色彩・形・言葉の模倣・コミュニケーション能力」の芽生えを促します。＊ただし、経験値および最新の論文とうを参考（ST職員配置はありません）					
人間関係 社会性	重度障害利用者を想定しています。まずは職員とのかわりあいからスタートし、他者とのコミュニケーション能力を培い、イベントを通して人間関係や社会性（物おじしない）の体験を通して学習できる環境を提供します。					
家族支援	もとより、NP00の理念として、家族の就労の保証のお手伝いを行っています。この制度に限らず法人全体の資源を活用して家族全体の支援します。関係機関との連携も行っています（不登校等）				移行支援	家族、相談支援事業所と成長の過程を密に連携し、卒業を見据えた支援を長期目標としています。また、卒業後の生活に対応できるような支援計画も行っております。
地域支援・地域連携	音楽会、手工芸、アウトドア資源の有効活用（協同）そして、地域の皆様に開放し、防災上の一時避難場所としても整備しています。また、不登校および引きこもり者へのイベント参加を促し、少しでも外出できる機会を提供しています。				職員の質の向上	月1回以上の、勉強会にて「障害特性勉強会」および、各種制度の勉強会を随時開催。また必要な資格取得に対し、事業所負担で取得していただいています。
主な行事等	通年を通して法人所有のエリアにて「四季の農作業・園芸療法」「専用工作室にて各種クラフト（陶芸・ガラス・木工など）」「音楽会の開催（不定期）」「野外活動（ハイキング、トレッキング、海遊び、山遊び、自然観察・・・）」「アウトドア体験（初心者専用エリアあり）」＊季節の行事					